

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在コロンビア日本国大使館

記入日 2016年6月

1. 現地の建設・不動産市場に係る経済情報

資料名：コロンビア経済情勢

URL：<http://colombia.emb-japan.go.jp>

資料名：コロンビア国建設着工許可面積

URL：

<http://www.dane.gov.co/index.php/construccion-alias/estadisticas-de-edificacion-de-licencias-de-construccion-elic>

2. 建設業制度、入札契約制度、不動産業制度の改正動向

該当なし。

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	ボゴタメトロ整備計画 ペニャロサ・ボゴタ市長は、2016年12月にボゴタメトロ第1号線（el Portal de las Americasからla Calle 26の間）の入札を行う予定であり、地下を通す可能性を完全に排除した旨発表した。	1月7日 当地紙報道
2	中流階級層の住居購入支援プログラム「Mi Casa Ya」 サントス大統領は、中流階級層が購入する9,300万ペソから2億3,100ペソ（約29,000ドルから約72,200ドル）の価格帯の住居（50,000棟）に対する金利補助支援（2.5%）を行うプロジェクトを公表した。 カルデナス財務・公債相はダボス会議において、財政政策高等審議会（CONFIS）は、中流階級層の住居購入支援プログラム「Mi Casa Ya」に係る予算1兆ペソ（約3.13億ドル）のうち約半分にあたる5,013億ペソ（約1.56億ドル）について承認した旨述べた。	1月21日 当地紙報道

3	<p>ボゴタメトロ整備計画</p> <p>3月10日にボゴタ市臨時市議会が開催される予定であり、その場でボゴタメトロ公社の設立が審議される。アンドレス・エスコバル・ボゴタメトロ計画最高責任者は、専門家に発注しているボゴタメトロ計画の調査報告が、本年5月もしくは6月に提出される見込みである。ボゴタメトロの設計が完了するのは本年後半であり、その時点で、駅の仕様及び本計画の予算等が判明する旨述べた。</p>	<p>2月26日</p> <p>当地紙報道</p>
4	<p>カルタヘナ港マモノルターミナルの近代化拡張整備計画</p> <p>サントス大統領は、カルタヘナ港にあるマモノルターミナルに7機の大型クレーンを整備する近代化拡張計画完成式を行った。同計画は、160万ドルの投資及び500人の雇用を創出するものであった</p>	<p>2月28日</p> <p>当地紙報道</p>
5	<p>ボゴタメトロ整備計画</p> <p>ボゴタ市議会は、ボゴタメトロ公社の設立を承認した。</p> <p>ペニャロサ・ボゴタ市長は、2017年にボゴタメトロに係る入札手続きを完了し、2020年の開通を約束する旨再表明した。</p> <p>財務・公債省国家開発銀行は、交通インフラのコンサルティング及び技術業務を行うフランス企業のSystra社が、ボゴタメトロの技術、資金及び法律の各テーマに関する調査を取りまとめる旨発表した。</p>	<p>4月10～26日</p> <p>当地紙報道</p>
6	<p>ブエナベントゥーラ港の拡張</p> <p>太平洋側に位置するブエナベントゥーラ湾内の半島の名前を持つアグアドゥルセ港湾ターミナルの工事は80%まで進捗し、国内で最も近代的なターミナルの1つとなる。9月1日に運営開始可能の見込みであり、ブエナベントゥーラ港で9番目のターミナルとなる。</p>	<p>5月31日</p> <p>当地紙報道</p>

4. その他我が国の建設産業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

該当なし。